

## シーカデュア®W

F☆☆☆☆  
ノンホルムアルデヒド

### エポキシ系 プレキャストコンクリートブロック用接着剤

**概要** シーカデュア®Wは、土木学会基準および関連規格<sup>1)</sup>に適合した、プレキャストコンクリートブロック接合用、2成分形接着剤です。強度が高く、耐久性に優れています。石材やレンガ、ガラスなども簡単かつ強固に接着することができます。

**用途**

- プレキャストコンクリート部材の接着
- 各種材料の接着  
コンクリート、モルタル、石材、セラミックス、レンガ、鉄、アルミニウム、木材、ポリエステル、エポキシ、ガラスなどの接着

**特長**

- ヘラやハケ、ローラーなどで簡単に施工できます。
- 湿潤面にも使用可能です。
- 揮発成分を含まない無溶剤タイプです。
- 硬化後の肉やせがほとんどありません。
- 強度発現が優れています。
- 機械的強度、接着強さに優れています。
- 耐衝撃性、耐摩耗性に優れています。

#### 製品規格値

	品質項目	単位	品質規格	条件	備考
未硬化の接着剤	外観	—	異物の混入がないこと	標準形:20±2℃ 遅延形:30±2℃ 促進形:10±2℃	目視
	粘度	mPa·s	1×10 <sup>4</sup> ~5×10 <sup>4</sup>		JIS K 6833
	可使時間	時間	2以上		ガードナー式
	だれ最小厚さ	mm	0.3以上		JSCE-H101-2001
硬化した接着剤	比重	—	1.40±0.20	試験温度 20±2℃ 養生条件 20±2℃ 7日間	JIS K 7112
	引張強さ	N/mm <sup>2</sup>	12.5以上		JIS K 7113
	圧縮強さ	N/mm <sup>2</sup>	70.0以上		JIS K 7208-1995
	引張せん断強さ	N/mm <sup>2</sup>	12.5以上		JIS K 6850
	接着強さ	N/mm <sup>2</sup>	6.0以上		JSCE-H101-2001

※土木学会基準プレキャストコンクリート用エポキシ樹脂系接着剤(橋げた用)品質規格(JSCE-H101-2001)に準拠

1)次頁の関連規格の品質基準参照



関連規格の品質基準

プレキャストコンクリート鉄道橋ブロック工法設計施工の手引き  
 昭和52年1月 日本国有鉄道 東京第三工事局  
 プレキャストコンクリート鉄道橋ブロック工法設計施工の手引き(特型けた)(案)  
 昭和53年3月 日本国有鉄道 東京第三工事局  
 プレキャストブロック工法によるプレキャストコンクリートTげた道路橋 設計施工指針  
 平成4年10月 財団法人 日本道路協会

	品質項目	単位	品質規格	条件	備考
未硬化の接着剤	外観	—	有害と認められる異物の混入がなく、材料分離が生じていないこと	—	—
	比重	—	1.2~1.6	常温	JIS K 6833
	粘度	CP	$1 \times 10^4 \sim 5 \times 10^4$	使用時基準温度	JIS K 6838
	可使時間	時間	2以上	使用時基準温度	ガードナー式
	だれ最小厚さ	mm	0.3以上	使用時基準温度	—
硬化した接着剤	引張強さ	kgf/cm <sup>2</sup>	125以上	常温 材令7日	JIS K 6911
	圧縮強さ	kgf/cm <sup>2</sup>	700以上	常温 材令7日	JIS K 6911
	接着強さ	kgf/cm <sup>2</sup>	60以上	常温 材令7日	JIS K 6850

国際単位系(SI)による数値の換算は、  
 1kgf=9.8N、1cP=1mPa·s、1kgf·cm=9.8×10<sup>-2</sup>J

技術資料

主成分	A成分(主剤) : エポキシ樹脂 B成分(硬化剤) : 変性脂肪族ポリアミン				
外観	A成分(主剤) : 白色ペースト状 B成分(硬化剤) : 黒色ペースト状 A+B混合物 : コンクリートグレー色ペースト状				
混合比	A成分 : B成分=2 : 1(重量比)				
施工温度	標準形	10℃ ~ 25℃			
	遅延形	20℃ ~ 40℃			
	促進形	5℃ ~ 15℃			
可使時間	ガードナー式	標準形	遅延形	促進形	
		40℃	—	1.2時間	—
		30℃	1.2時間	2.5時間	—
		20℃	2.5時間	4.5時間	1.2時間
		10℃	4.5時間	—	2.5時間
	5℃	—	—	4.5時間	
保存期間	未開封で12カ月				
荷姿	12kg/箱(6kgセット×2)	A成分(主剤) : 4kg/缶 B成分(硬化剤) : 2kg/缶			
標準使用量	12kg/箱あたり約8.5m <sup>2</sup> (塗り厚1mm)				

## 性状・性能

	条件	標準形	遅延形	促進形
比重 硬化物		1.4±0.2	1.4±0.2	1.4±0.2
圧縮強さ(N/mm <sup>2</sup> ) JIS K 7208-1995	1日目 3日目 7日目 14日目	10℃ 20℃ 6 54 47 76 74 81 79 83	20℃ 30℃ 39 74 68 83 79 85 83 85	10℃ 20℃ 12 48 56 74 79 81 83 85
圧縮弾性係数(N/mm <sup>2</sup> ) JIS K 7208-1995	20℃・7日	4×10 <sup>3</sup>	4×10 <sup>3</sup>	4×10 <sup>3</sup>
接着強さ(N/mm <sup>2</sup> ) 建研式引張試験	20℃・7日	3.3 (コンクリート破断)	3.4 (コンクリート破断)	3.1 (コンクリート破断)
引張強さ(N/mm <sup>2</sup> ) JIS K 7113	20℃・7日	27	28	27
引張せん断強さ(N/mm <sup>2</sup> ) JIS K 6850	20℃・7日	15.0	14.5	14.8
曲げ強さ(N/mm <sup>2</sup> ) JIS K 7203-1995	20℃・7日	51	50	50
曲げ接着強さ(N/mm <sup>2</sup> ) JIS A 6024 ※4×4×8cm試験片2体を 接着後に曲げ試験	20℃・7日	6.5 (モルタル破断)	6.4 (モルタル破断)	6.6 (モルタル破断)
熱膨張係数 JIS K 6911	20℃・7日	7×10 <sup>-5</sup>	7×10 <sup>-5</sup>	7×10 <sup>-5</sup>

## 施工方法

### プレキャストブロック工法

下地処理	・施工面に汚れ、レイタンス、油脂分、塗料などが付着している場合は、ワイヤブラシ、ディスクサンディング、サンドブラストなどを使用し、除去して下さい。
混合	・A成分の中にB成分を全量入れ、ハンドミキサー(max500rpm程度の低速タイプ)を使用し、空気が混入しないように均一なグレー色になるまで3分以上混合して下さい。 ・使用量が比較的少ない場合は、まず混合前にそれぞれの缶の中をよくかき混ぜて下さい。次に、A成分、B成分を2:1(重量比)の比率で計量した後、混合して下さい。 ・大量に混合する場合は、化学反応により材料の温度が上昇し、可使用時間が短くなる場合があります。一度に混合する量は、可使用時間内に使いきれぬ量にして下さい。
塗布	・ヘラ、ハケ、ローラーなどを用いて、ブロック接合面の一方の面に厚さ1mm程度塗布した後、ブロック同士を接合して下さい。なおシース付近では、シース内に接着剤が入らないように、シースの周囲を30～40mm程度塗り残して下さい。
養生	・接合後はその部分をシートで覆い、3日間程度養生して下さい。 ・養生期間中は衝撃や振動などを与えないように注意して下さい。

### 汎用的な施工方法

下地処理	・施工面に汚れ、レイタンス、油脂分、塗料などが付着している場合は、ワイヤブラシ、ディスクサンディング、サンドブラストなどを使用し、除去して下さい。 ・金属表面やポリエステル、エポキシ樹脂などの表面は、粗めのサンドペーパーやサンドブラストなどで処理して下さい。 ・ガラスやセラミックスの表面は、サンドペーパーを使用して処理して下さい。 ・シリコンが付着している下地への施工は避けて下さい。
混合	・A成分の中にB成分を全量入れ、ハンドミキサー(max500rpm程度の低速タイプ)を使用し、空気が混入しないように均一なグレー色になるまで3分以上混合して下さい。

- ・使用量が比較的少ない場合は、まず混合前にそれぞれの缶の中をよくかき混ぜて下さい。次に、A成分、B成分を2:1（重量比）の比率で計量した後、混合して下さい。
- ・大量に混合する場合は、化学反応により材料の温度が上昇し、可使用時間が短くなることがあります。一度に混合する量は、可使用時間内に使いきれぬ量にして下さい。

## 施工

- ・ヘラ、ハケ、ローラーなどを用いて、接着面に塗布して下さい。
- ・湿潤面に施工する場合は、接着剤を下地に擦込むように塗布して下さい。
- ・標準的な塗布厚さは1mm程度ですが、塗布厚さは接着面の凹凸に応じて適宜調整して下さい。

## 洗浄

- ・施工後、使用した工具は、硬化する前にラッカーシンナーで洗浄して下さい。（洗浄中、溶剤の蒸気を吸引しないように注意して下さい。）

## 重要事項

- ・高温時は、可使用時間が短くなります。夏期に施工する場合は、材料温度が上昇しないように、室内の冷暗所に置くなどの処置を行って下さい。  
40℃以上で施工する時は、当社にご相談下さい。
- ・低温時は、材料の粘度が上昇し作業性が低下するとともに、硬化が遅れます。原則として5℃以上の環境で使用して下さい。

## 注意

### 取扱い

- A成分：刺激性の成分としてエポキシ樹脂を含み、長時間あるいは繰返しの接触により皮膚刺激を起こすことがあります。また、目を刺激することがあります。高濃度の蒸気は呼吸障害を起こす恐れがあります。皮膚との接触を避け、適当な換気条件の元で蒸気を吸わないように使用して下さい。保護メガネ、安全マスクおよび耐化学薬品手袋などを使用して下さい。また取扱い作業を開始する前に、腕や手などに保護クリームを塗ることをお勧めします。
- B成分：刺激性の成分としてアミンを含んでいます。目あるいは皮膚を刺激します。高濃度の蒸気は呼吸障害を起こす恐れがあります。適当な換気条件の元で蒸気を吸わないように使用して下さい。保護メガネ、安全マスクおよび耐化学薬品手袋などを使用して下さい。B成分の付着した衣類は着替えて下さい。また取扱い作業を開始する前に、腕や手などに保護クリームを塗ることをお勧めします。
- 詳細は製品安全データシートを参照して下さい。

### 救急法

皮膚に付着した場合はすぐに拭取り、石鹸を使用し、水で十分に洗って下さい。痛みや外観に変化がある場合には、速やかに医師の診断を受けて下さい。目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、必要に応じて医師の処置を受けて下さい。蒸気を吸入して気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

### 保管

- A成分：火気、湿気、水を避け、室内の直射日光の当たらない場所に保管して下さい。
- B成分：毒物及び劇物取締法（劇物含有）に従い施錠して保管して下さい。保管中に分離が生じた場合は、使用前によく攪拌して下さい。

### 廃棄

使用後の材料・容器は、A成分とB成分を混合し硬化を確認した後、法規に従って廃棄して下さい。

### 消防法による 危険物分類

第4類 第3石油類 火気厳禁 危険等級Ⅲ

シーカ製品の適用および使用に関する情報および勧告は、当社の最新の知識および経験に従っているものであり、通常の条件下で適切に保管、処理および適用されることを前提としております。実際には材料、配合および現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面での勧告、その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また、法的関係から生ずる責任をもちあわすものではありません。ユーザーは、シーカ製品がユーザーの使用目的および施工方法に適しているかをあらかじめ確認して下さい。当社は、製品の特性を変更する権利を留保します。第三者の権利は尊重されなければなりません。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注されます。ユーザーは常に使用する製品のプロダクトデータシートの最新版に留意して下さい。プロダクトデータシートの最新版はご請求いただければ当社が提供いたします。著作権法により無断複写複製及び無断転載は禁止されています。

日本シーカ株式会社  
 化成営業開発本部  
 〒254-0021 神奈川県平塚市長瀬1-1  
 TEL 0463-23-1301 FAX 0463-21-1316  
<http://www.sika-japan.co.jp/>

